

2022年9月14日(水) 朝刊

東毛

伊勢志摩国際大衆音楽作曲コンクール

滝沢さん里沼表現し特別賞

館林

館林市堀工町のフルート奏者、滝沢昌之さん(51)が、同市の日本遺産「里沼」をテーマに作詞作曲した「里沼の記憶」で、第1回伊勢志摩国際大衆音楽作曲コンクールの特別賞に選ばれた。昨年11月に同市に転居、「自然の美しさに圧倒された」という里沼の魅力に唱歌風に仕上げた。

滝沢さんはコンクールに5曲を応募した。「里沼の記憶」と、今年2月に亡くなった母を思い作った器楽曲「安らかな眠りに」の2曲が特別賞に選ばれた。

演奏や後進の指導、音楽プロデュースを続けている。福岡県内で20年ほど過ごし、昨年、コロナ禍の影響で埼玉県川越市の実家に一時身を寄せた。近郊で音楽教室を開ける拠点を探していたところ、城沼で見た夕日の美しさに感動し館林への移住を決めた。

「周囲が開けて朝日や夕日が美しく、空の色が毎日違う。素晴らしい風景を多くの人と共有したい」と作曲の理由を語る。「作曲は素人」と言いつつ、自然と曲が湧いてきたという。「逆

美しさに感動 唱歌風に

り着いた水辺は守りの里沼」「大河に照り映えて眩い西陽」など3番まである歌詞は、メロディーとのなじみを大切にした。

新居に母を招き里沼を案内することができなかったのが心残りだったが、「安らかな眠りに」を作ることで、悲しみに暮れていた自分自身への癒やしになったと振り返る。

「里沼の記憶」は、音楽仲間による独唱とピアノ伴奏による演奏を動画で公開している。「ぜひ地元の方に聞いてもらい、里沼の魅力を再認識してもらいたい。合唱へのアレンジもお勧め」と話す。

コンクールは国内外のあらゆる分野のポピュラー音楽作品を対象に、三重県の伊勢志摩芸術

催事実行委員会が募集。グランプリ1点と特別賞35点が8月末に発表された。(正田哲雄)



「里沼」をテーマにした曲が入賞した滝沢さん

30日まで実施。市内に宿泊した県民45人に、

行政情報

は20日から来年1月末 利用できるプレミアム券